

◆目的

気仙沼観光マーケティングレポートは、地域消費額の拡大に向け地域の関係者の協力を得ながら、地域の事業者の皆さま、観光関連団体の皆さま、更には市民の皆さまに気仙沼の観光の現状をより正確に把握していただくことを目的としています。

◆調査概要

○宿泊統計調査

気仙沼市内全宿泊施設(61 施設)を対象とし、各宿泊施設の宿泊者名簿から、宿泊者の居住地と来訪目的(観光、復興関連、その他ビジネス等※以下、その他と表記)を集計。

○気仙沼観光マーケティングレポート(月刊)

毎月発行している「気仙沼観光マーケティングレポート」にて対象としている気仙沼市内の観光施設、物販施設、体験・ガイドプログラム及び観光案内所の利用者数を集計。

○気仙沼市観光客実態調査アンケート

1. 海の市での街頭アンケート調査を実施。調査日時及びサンプル数は以下の通り。

＜実施日時／サンプル数＞

- ・5 月 26 日(日)9:00～15:00／サンプル数:163 件
- ・7 月 28 日(日) 9:00～15:00／サンプル数:163 件
- ・10 月 20 日(日) 9:00～15:00／サンプル数:155 件
- ・12 月 15 日(日) 9:00～15:00／サンプル数:153 件

2. 気仙沼市内の宿泊施設に協力を要請し、1と同様のアンケート用紙及び インターネット上のアンケートフォームにて宿泊客に対してアンケート調査を実施。 協力施設、実施期間及びサンプル数は以下の通り。

＜協力施設(順不同)＞

- ・網元の宿 磯村 ・気仙沼パークホテル ・気仙沼プラザホテル ・サンマリンホテル観洋
- ・セントラルホテル松軒 ・ホテル 一景閣 ・ホテルパールシティ気仙沼 ・旅館 明海荘 ・休暇村 気仙沼大島

＜回答期間／サンプル数＞

- ・2019 年 5 月 13 日(月)～5 月 31 日(金) / サンプル数:65 件

※この期間は試験的に、気仙沼プラザホテルとサンマリンホテル観洋のみで実施。

- ・2019 年 8 月 1 日(木)～8 月 31 日(土) / サンプル数:552 件
- ・2019 年 10 月 12 日(土)～11 月 10 日(日) / サンプル数: 347 件

・2019 年 12 月 2 日(月)～2020 年 1 月 5 日(日) / サンプル数: 245 件

【集計対象】 合計サンプル数:1,843 件

2019 年 気仙沼市の観光トピックス

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新施設OPEN		三陸道の 延伸（歌 津・小島海 岸、本宮 津谷・大谷 海岸）	東日本大 震災遺構 伝承館	気仙沼 大島大橋			小島海水 浴場 野杜海 みしおね 橋下					
トピックス					つつじ フェス ティバ ル			みなと まつり		リアス 牡蠣 祭り		クルーカード アグリ リリース クルーカード 加盟店が増加
キャンペーン				徳仙丈キャンペーン			サマークルーズ 2019					アプリ ダウン ロード キャン ペーン

目次

1. 宿泊動向

(1) 宿泊者数	p.3
(2) 客室稼働率	p.3
(3) 宿泊者の居住地	p.4

2. 気仙沼市の来訪者分析

(1) 来訪者の属性	p.5～6
(2) 季節ごとの特徴	p.7～8
(3) 来訪回数ごとの特徴	p.9
(4) 居住地ごとの特徴	p.10～11

3. 物販施設の利用実績

(1) レジ通過人数(過去 5 年比較)	p.12
(2) レジ通過 年間推移比較(過去 3 年)	p.12
(3) 施設ごとの年間推移 (令和元年)	p.13

4. 観光施設の利用実績

(1) 利用人数(過去 5 年)	p.14
(2) 利用人数 年間推移比較(過去 3 年)	p.14
(3) 施設ごとの年間推移(令和元年)	p.15

5. 体験プログラムの利用実績

(1) ①体験人数(過去 5 年)	p.16
②体験人数 年間推移比較(過去 3 年)	p.16
③プログラムごとの年間推移(令和元年)	p.17
(2) ①体験金額(過去 5 年)	p.18
②体験金額 年間推移比較(過去 3 年)	p.18
③プログラムごとの年間推移(令和元年)	p.19

6. 観光案内所の利用実績

(1) 利用人数(過去 5 年)	p.20
(2) 利用人数 年間推移比較(過去 3 年)	p.20
(3) 施設ごとの年間推移(令和元年)	p.21

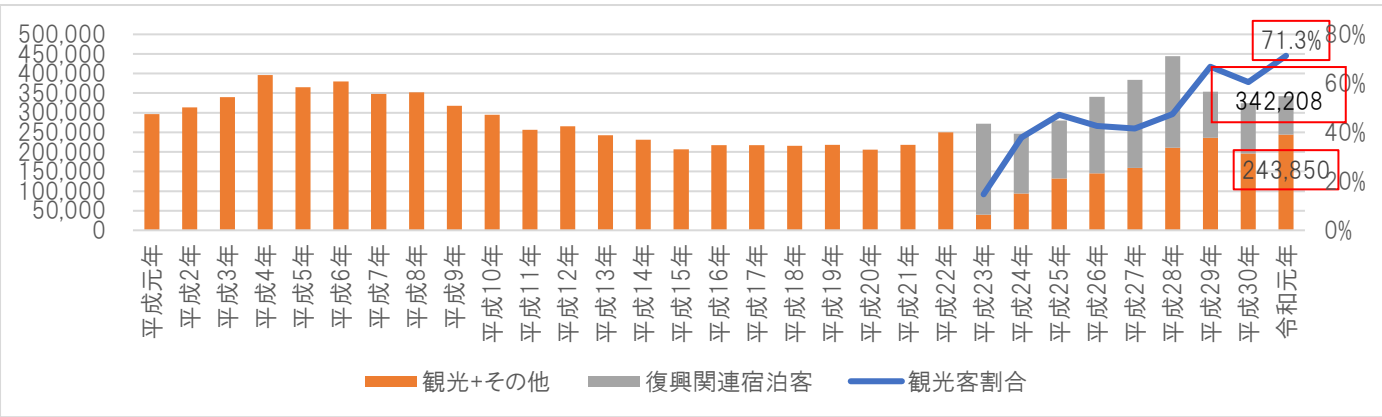
1. 宿泊

<宿泊トピックス>

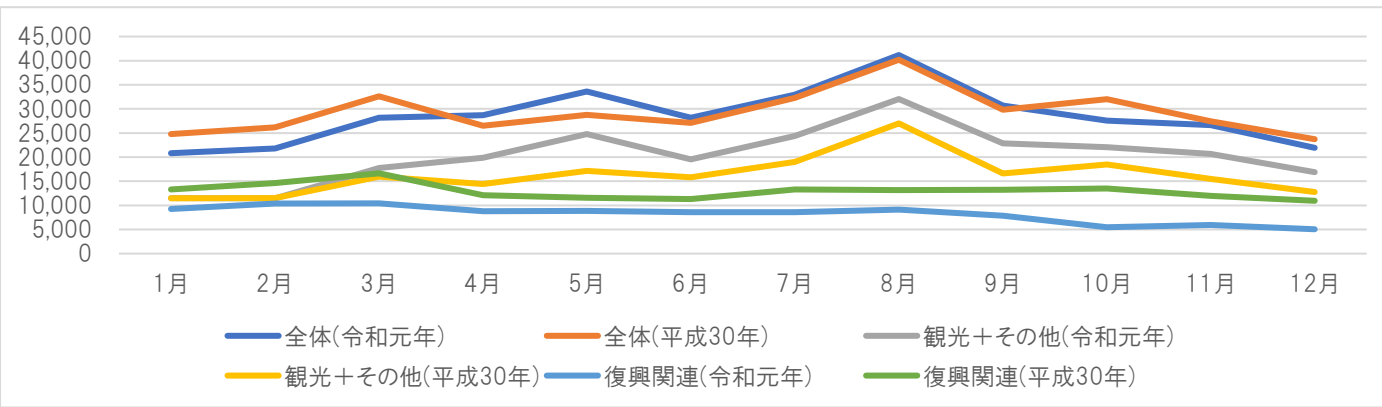
- ・全宿泊者数は 342,208 人泊で前年対比 105.7%と微増となっており、そのうち 71.3%の 243,850 人泊が復興関連を除く「観光・ビジネス」を目的とした宿泊客となっている。
 - ・復興関連を除く宿泊者数は前年対比 124.5%と増加し、震災以降最高値となった。
 - ・復興関連は前年対比で 63.1%と減少している。震災当初から減少傾向にあり、平成 23 年と比較すると 42.4%と半数以下に減少している。
 - ・客室稼働率は前年と比較すると年間を通して、平成 30 年は 66.0%, 令和元年は 61.1%と微減となった。
- (集計対象となる施設数は変わらないが、客室数は前年対比 111.0%となっており、受け入れ可能数は前年対比 106.0%となっている。)

(1)宿泊者数 (出処:観光統計調査)

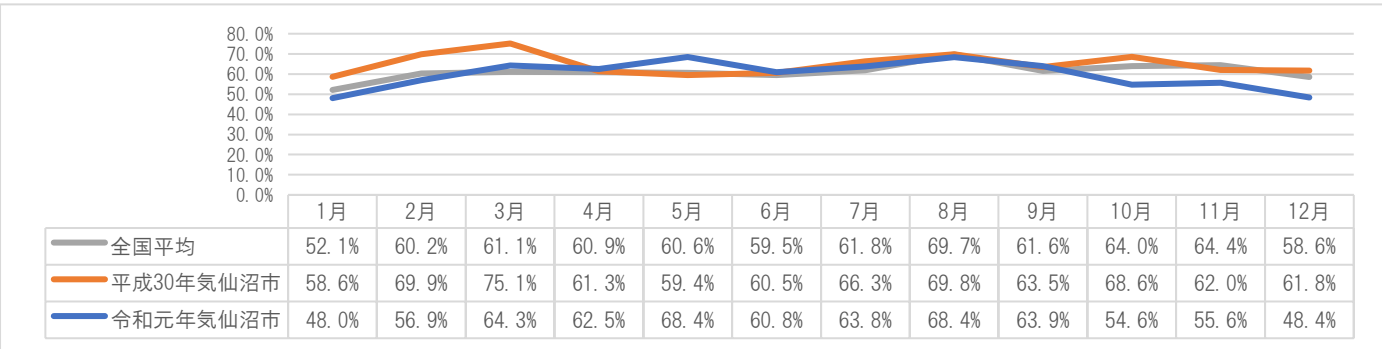
①年別宿泊者数推移



②目的別年間宿泊者数推移前年対比



(2)客室稼働率



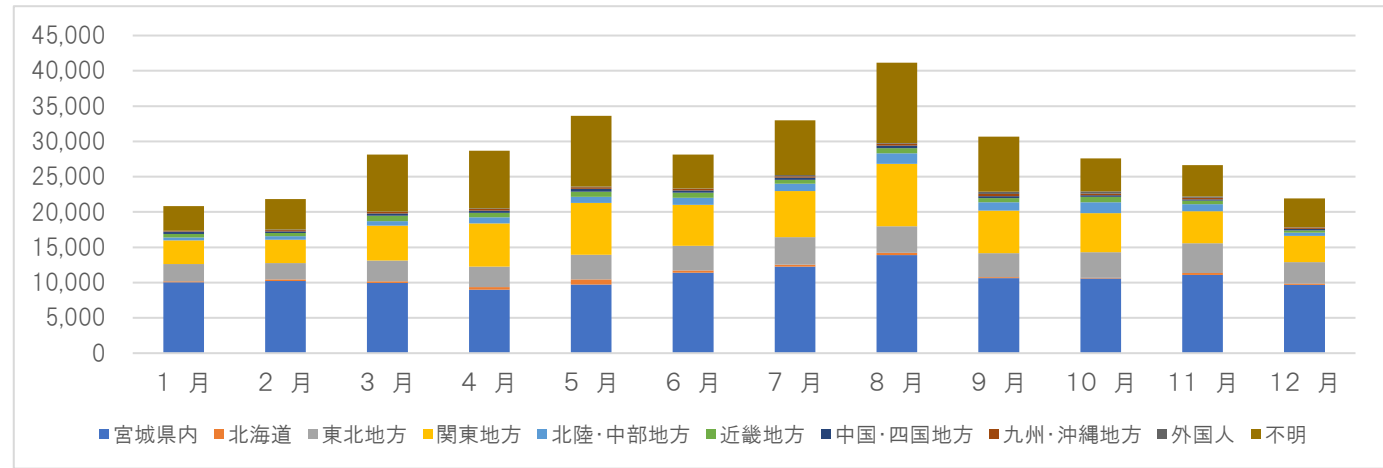
(3)①宿泊者の居住地 （出处：観光統計調査）

<宿泊トピックス>

・宮城県内からの来訪者が37.5%と最も多く、関東地方で19.3%、宮城県以外の東北地方で11.6%と続いている。

・8月、5月、10～11月と宿泊客が多い3つの時期にあり、それぞれ夏休み、ゴールデンウィーク、団体旅行が要因となっている。

・エリアによってピークが異なり、関東地方では7～8月と5月がピークとなるが、東北地方では8月に次いで11月に宿泊客が多い。東北地方の中では岩手県だけが12月にも宿泊客が多くなった。



②宿泊者の居住地 内訳(エリアごとにトップ3を段階的に色分けしている。)

地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	割合
宮城県内	10,042	10,239	9,959	8,998	9,734	11,392	12,254	13,909	10,618	10,566	11,089	9,698	128,498	37.5%
北海道	153	205	232	378	733	331	296	324	160	103	259	160	3,334	1.0%
東北地方	2,434	2,318	2,952	2,909	3,483	3,486	3,893	3,762	3,387	3,656	4,228	3,021	39,529	11.6%
関東地方	3,356	3,309	4,923	6,082	7,325	5,798	6,538	8,820	6,023	5,494	4,519	3,722	65,909	19.3%
北陸・中部地方	426	494	658	892	879	1,009	1,031	1,499	1,214	1,562	1,001	493	11,158	3.3%
近畿地方	493	459	754	636	737	745	561	749	562	752	530	314	7,292	2.1%
中国・四国地方	251	251	313	291	400	299	296	353	257	267	184	216	3,378	1.0%
九州・沖縄地方	116	173	240	244	239	216	196	265	316	223	207	156	2,591	0.8%
外国人	83	60	27	83	72	76	155	79	335	304	187	74	1,535	0.4%
不明	3,463	4,313	8,087	8,182	10,029	4,789	7,748	11,402	7,826	4,659	4,418	4,068	78,984	23.1%
合計	20,817	21,821	28,145	28,695	33,631	28,141	32,968	41,162	30,698	27,586	26,622	21,922	342,208	100.0%

③東北地方の宿泊者の月別内訳

地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
宮城県	9,969	10,128	9,659	8,601	9,072	10,879	11,548	12,923	10,046	10,099	10,669	9,536	123,129
岩手県	1,287	1,151	1,517	1,250	1,208	1,122	1,310	1,430	1,141	727	1,001	1,333	14,477
福島県	265	304	278	305	509	601	736	574	593	631	821	423	6,040
青森県	429	433	584	329	442	421	474	518	403	273	432	410	5,148
秋田県	149	145	170	353	407	428	270	303	316	895	906	326	4,668
山形県	162	86	239	280	372	267	297	356	379	418	583	279	3,718

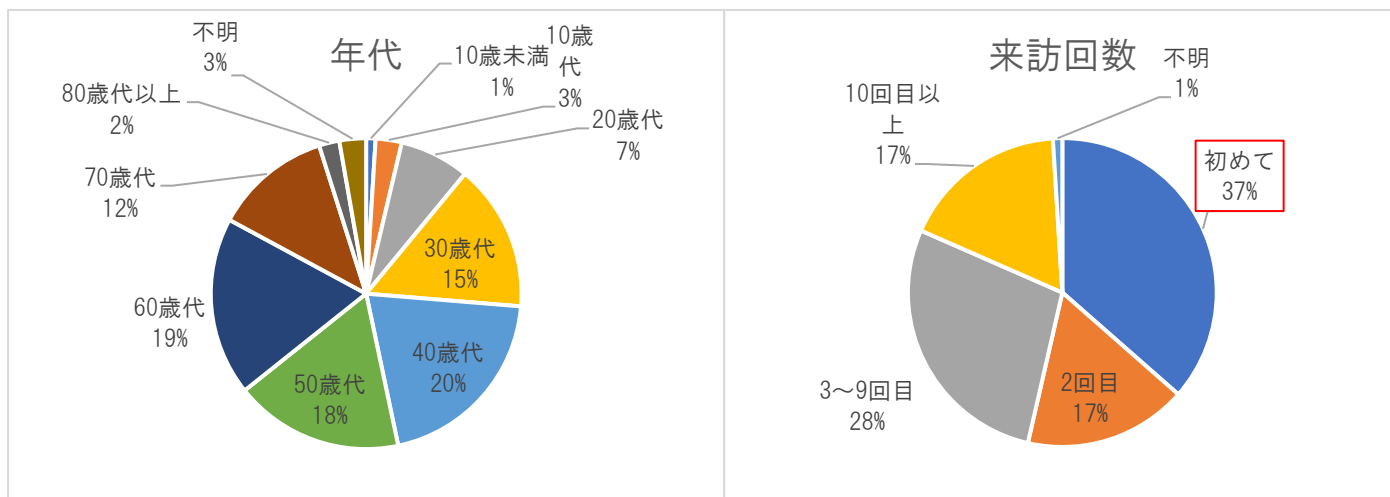
2. 気仙沼市への来訪者分析 （出処：気仙沼市観光客実態調査アンケート）

＜気仙沼市への来訪者分析 トピックス＞

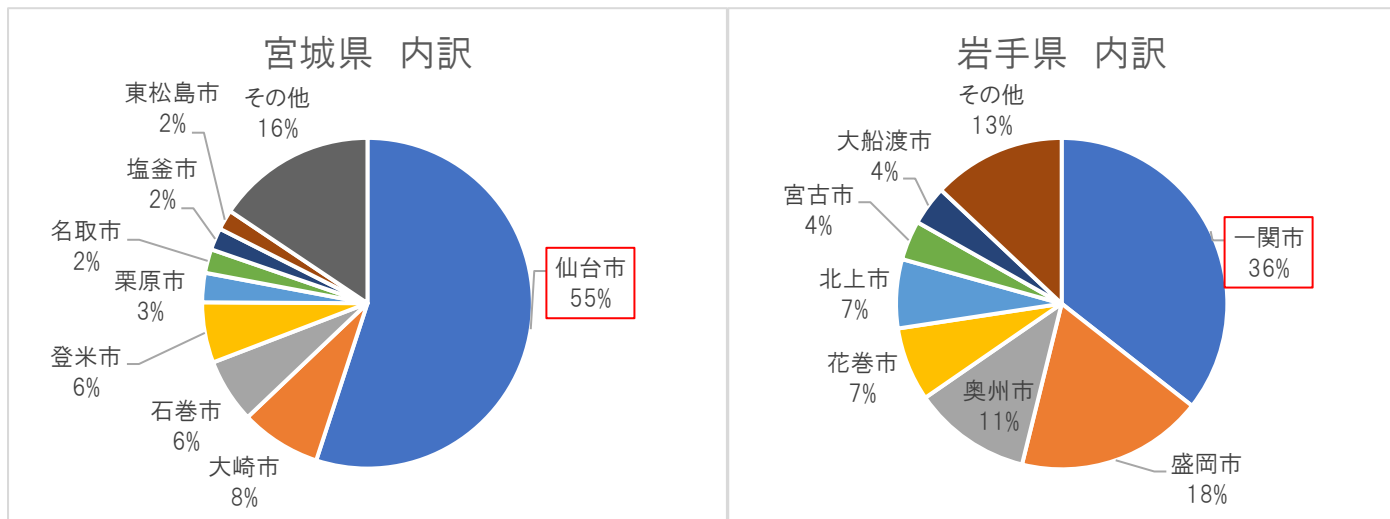
- ・年代別に見ると 30 代から 60 代まで幅広い年代の観光客が来訪しており、初回来訪者は 37%，2 回目以上のリピーターは 62%となった。
- ・気仙沼市への来訪者が最も多い宮城県を市町村別に見ると「仙台市」が 55%と半数以上を占めており、東北地方の中で宮城県に次いで多い岩手県の内訳を見ると「一関市」が 36%となっている。
- ・2 名での旅行が 33%と最も多く、夫婦 2 人での旅行、高校生以下の子どもを連れた家族旅行がほぼ同数の 24%となった。
- ・気仙沼市への来訪者は、自家用車での来訪が最も多く 71.4%，次いで新幹線と在来線やレンタカーなどを組み合わせた来訪が 16.4%となった。

(1) 来訪者の属性

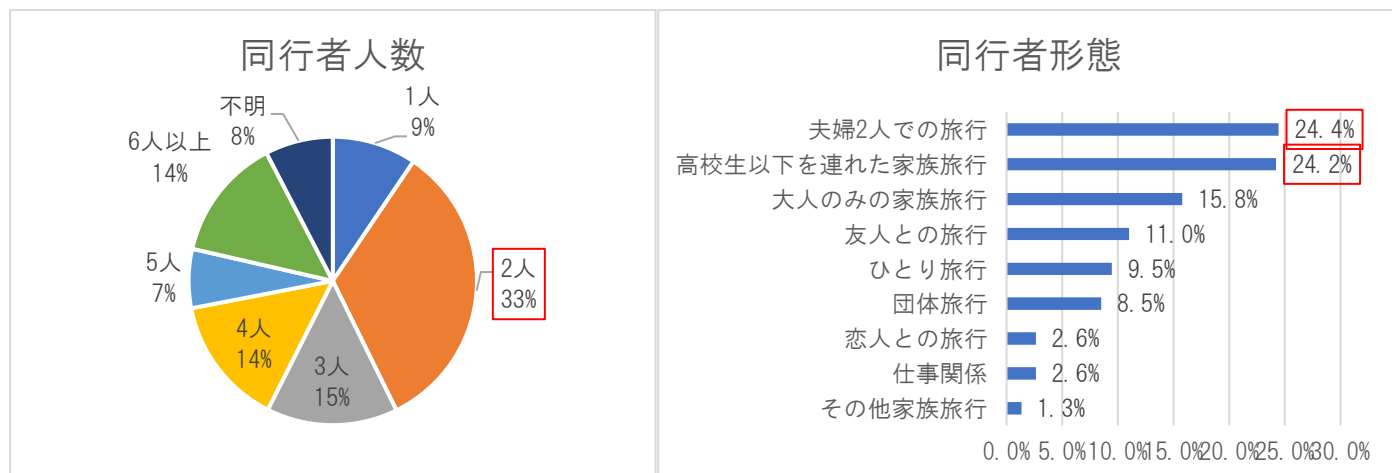
① 年代・来訪回数



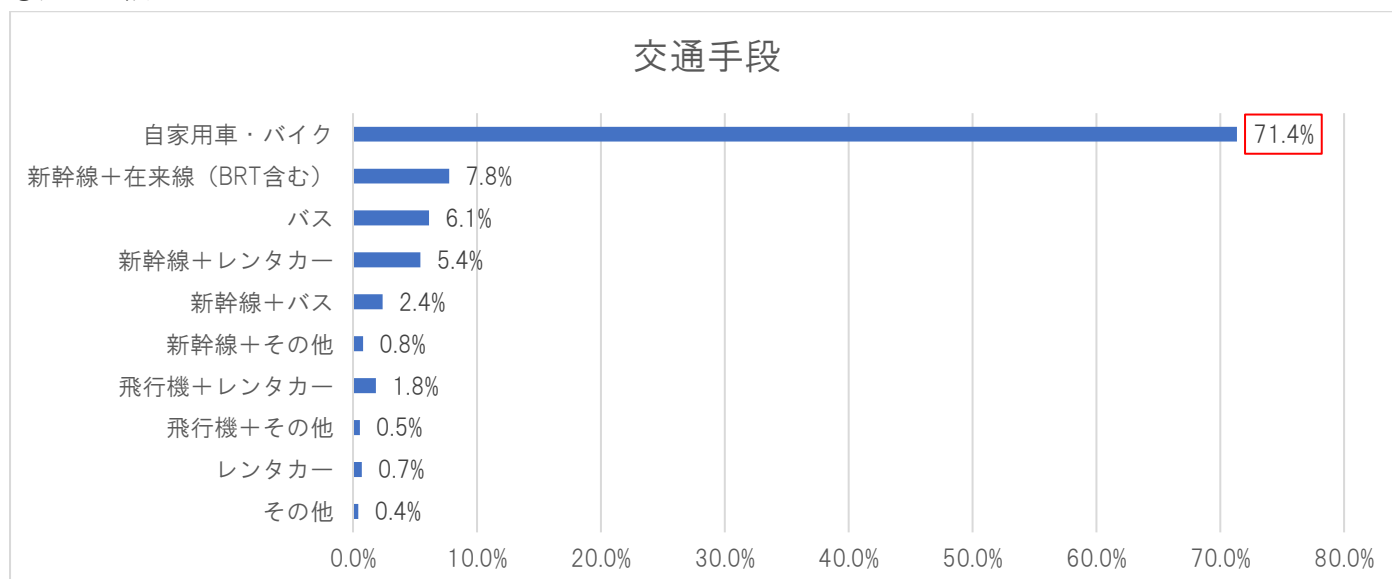
② 居住地



③同行者



④交通手段



(2) 季節ごとの特徴 （出処：気仙沼市観光客実態調査アンケート）

< 季節ごとの特徴 トピックス >

季節を問わず、「おいしい旬なグルメが食べたい」という需要が多く、全体で 45.3% となっている。

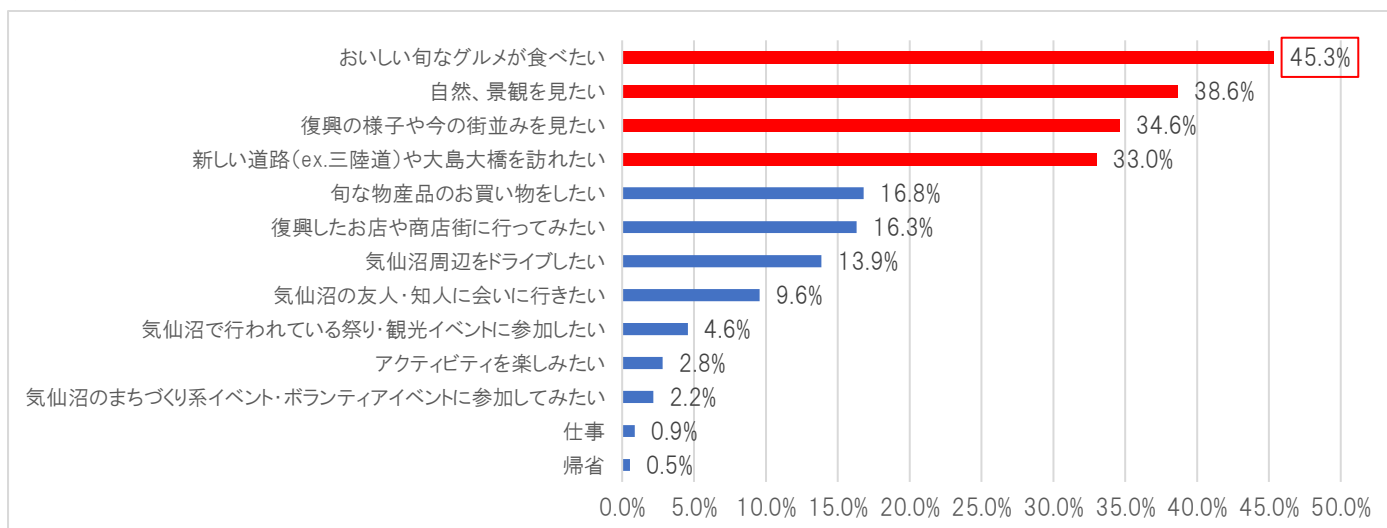
・春季：春季の特徴としては、「徳仙丈のつつじ」目的として「自然、景観を見たい」が 45.2% と最も高く、岩手県、とりわけ気仙沼市から距離が近い地域から、50 歳代の夫婦 2 人での旅行が多い傾向が見られる。

・夏季：夏季の特徴としては、東京近郊から子どもを連れた家族旅行で訪れる 40 歳代の来訪者が多いが、その来訪目的は多様であり、様々な楽しみ方を用意することが求められる。

・秋季：秋季の特徴としては、宮城県を含む東北地方からの来訪者が多く、年齢層は 60 歳代以上が約半数を占める。ほかの季節と比較すると団体旅行の割合が大きくなることも秋季の特徴と言える。

・冬季：冬季の特徴としては、海の市を目的地とする来訪者が多く、ほかの季節と比較すると来訪目的に「旬な物産品のお買い物をしたい」を選択する割合が多かった。

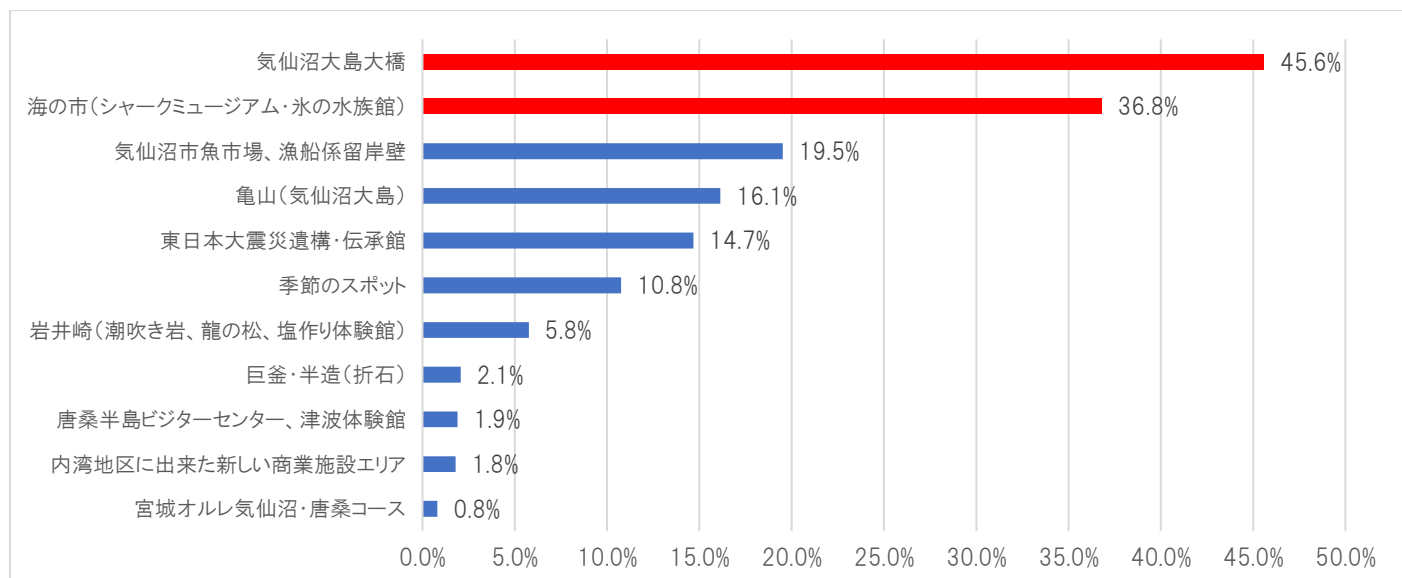
① 来訪目的(全体)



② 来訪目的(季節別) (目的ごとの平均値と比較して 3 ポイント以上、5 ポイント以上と段階を分けて色付けを行った。)

来訪目的	春季	夏季	秋季	冬季
自然、景観を見たい	45.2%	41.5%	36.9%	32.4%
気仙沼周辺をドライブしたい	15.8%	14.7%	13.9%	11.8%
おいしい旬なグルメが食べたい	36.8%	46.4%	45.0%	49.0%
旬な物産品のお買い物をしたい	10.1%	14.8%	18.9%	21.9%
復興の様子や今の街並みを見たい	22.8%	38.7%	37.6%	30.2%
復興したお店や商店街に行ってみたい	8.8%	19.0%	17.7%	14.3%
新しい道路(ex.三陸道)や大島大橋を訪れたい	28.1%	37.3%	35.5%	24.4%
アクティビティを楽しみたい	0.0%	4.9%	1.4%	1.5%
気仙沼で行われている祭り・観光イベントに参加したい	3.1%	6.7%	3.6%	1.5%
気仙沼のまちづくり系イベント・ボランティアイベントに参加してみたい	2.2%	2.4%	2.0%	2.0%
気仙沼の友人・知人に会いに行きたい	10.1%	9.0%	8.4%	12.3%

③来訪の目的となったスポット(全体)



④来訪の目的となったスポット(季節別)

(目的ごとの平均値と比較して 3 ポイント以上, 5 ポイント以上と段階を分けて色付けを行った。)

スポット	春季	夏季	秋季	冬季
気仙沼大島大橋	42.5%	47.1%	46.2%	44.0%
亀山(気仙沼大島)	15.8%	15.9%	17.7%	15.1%
気仙沼市魚市場、漁船係留岸壁	11.0%	18.2%	22.9%	22.6%
海の市(シャークミュージアム・氷の水族館)	27.2%	38.3%	33.5%	44.0%
内湾地区に出来た新しい商業施設エリア	4.4%	6.3%	8.4%	8.5%
東日本大震災遺構・伝承館	7.9%	15.9%	17.9%	12.6%
岩井崎(潮吹き岩、龍の松、塩作り体験館)	4.8%	6.7%	5.2%	5.8%
唐桑半島ビジターセンター、津波体験館	0.9%	1.7%	2.8%	2.3%
巨釜・半造(折石)	1.3%	1.8%	2.6%	2.8%
宮城オルレ気仙沼・唐桑コース	0.0%	0.7%	1.0%	1.5%
季節のスポット	36.0%	16.6%	0.0%	8.5%

(3) 来訪回数ごとの特徴 (出処: 気仙沼市観光客実態調査アンケート)

<p>＜季節ごとの特徴 トピックス＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回来訪者は「自然景観」が 45.6%, 「復興の様子や今の街並みを見たい」が 42.2%と 2 回目以上の来訪者よりもニーズが高い。 ・初回来訪者, 10 回目以上の来訪者は新しい道路や気仙沼大島大橋を目的とする割合が比較的低い。 ・10 回目以上のピーター層は「買い物(26.9%)」や「友人・知人に会いに来た(19.1%)」, 「イベントの参加(9.9%)」が来訪目的となる割合が高く, 「海の市」などの商業施設を目的のスポットとする割合が 44.4%と高い。 ・来訪回数が少ない観光客は伝承館を来訪目的とする割合が比較的高い。
--

① 来訪目的(来訪回数別) (目的ごとの平均値と比較して 3 ポイント以上, 5 ポイント以上と段階を分けて色付けを行った。)

来訪目的	初回	2 回	3～9 回	10 回以上
自然、景観を見たい	45.6%	39.7%	35.3%	31.5%
気仙沼周辺をドライブしたい	13.1%	11.7%	16.3%	14.8%
おいしい旬なグルメが食べたい	47.2%	47.6%	46.8%	38.9%
旬な物産品のお買い物をしたい	12.2%	16.2%	17.9%	26.9%
復興の様子や今の街並みを見たい	42.2%	37.1%	32.6%	21.0%
復興したお店や商店街に行ってみたい	17.9%	18.7%	16.5%	11.4%
新しい道路(ex.三陸道)や大島大橋を訪れたい	26.5%	39.0%	41.6%	27.2%
アクティビティを楽しみたい	3.0%	2.9%	2.1%	3.1%
気仙沼で行われている祭り・観光イベントに参加したい	3.3%	2.5%	4.3%	9.9%
気仙沼のまちづくり系イベント・ボランティアイベントに参加してみたい	2.2%	1.6%	1.9%	3.7%
気仙沼の友人・知人に会いに行きたい	5.5%	7.0%	10.9%	19.1%

② 来訪の目的となったスポット(来訪回数別)

(目的ごとの平均値と比較して 3 ポイント以上, 5 ポイント以上と段階を分けて色付けを行った。)

スポット	初回	2 回目	3～9 回目	10 回目以上
気仙沼大島大橋	37.0%	51.1%	55.0%	43.8%
亀山(気仙沼大島)	15.4%	16.2%	19.0%	13.9%
気仙沼市魚市場、漁船係留岸壁	18.8%	21.3%	20.6%	17.9%
海の市(シャークミュージアム・氷の水族館)	36.4%	29.8%	37.7%	44.4%
内湾地区に出来た新しい商業施設エリア	5.2%	7.9%	8.2%	8.6%
東日本大震災遺構・伝承館	17.9%	17.1%	13.2%	8.6%
岩井崎(潮吹き岩、龍の松、塩作り体験館)	5.4%	5.4%	6.2%	6.5%
唐桑半島ビジターセンター、津波体験館	1.9%	2.9%	1.6%	2.2%
巨釜・半造(折石)	1.8%	2.5%	2.1%	2.8%
宮城オルレ気仙沼・唐桑コース	0.9%	0.3%	0.8%	1.5%
季節のスポット	12.5%	12.4%	13.0%	13.3%

(4)居住地ごとの特性 (出処:気仙沼市観光客実態調査アンケート)

＜居住地ごとの特性 トピックス＞

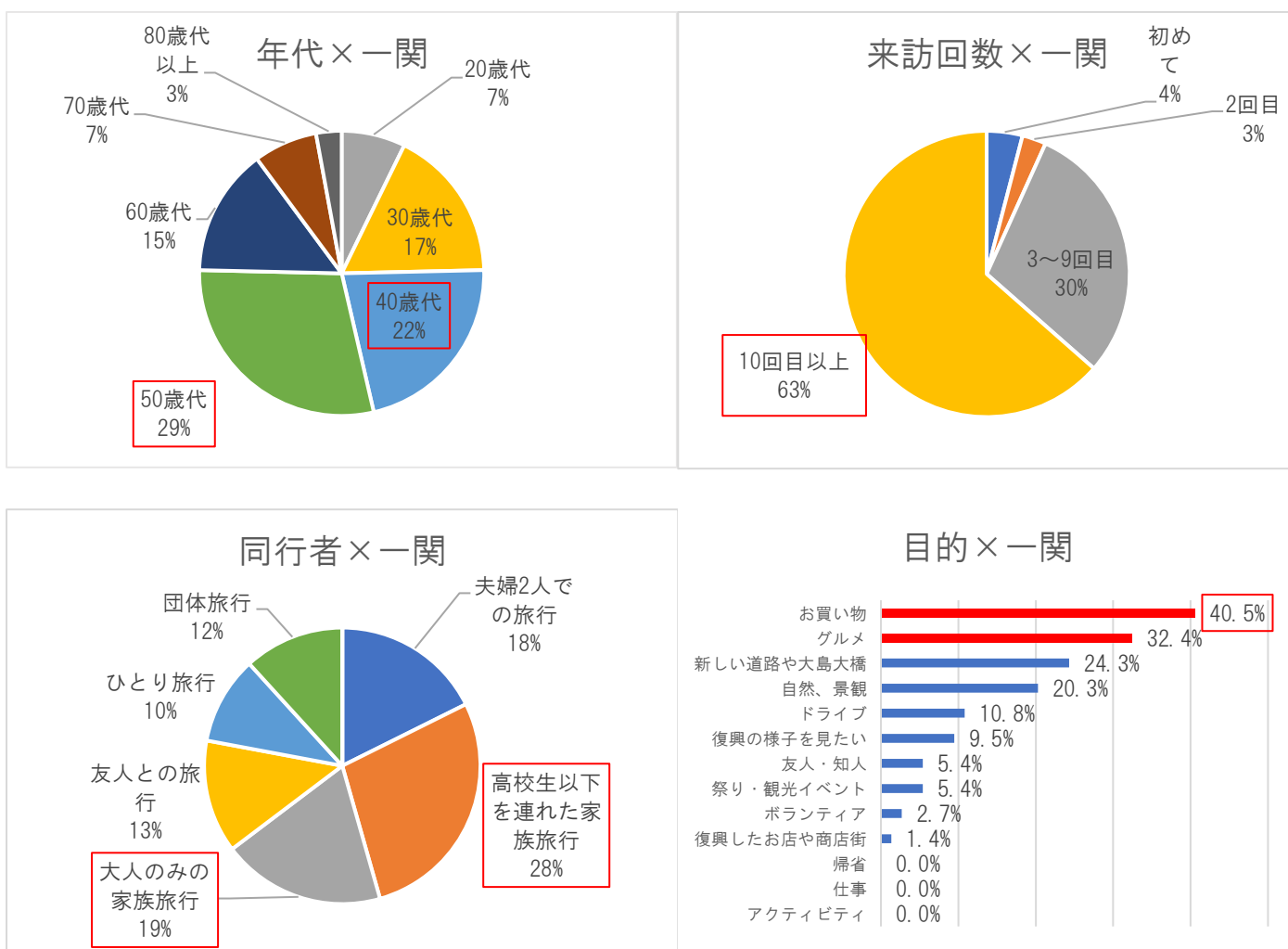
・年間を通して気仙沼への来訪者が多い地域として、一関市、仙台市、首都近郊(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県)ごとの特徴を以下にまとめた。

①一関：一関市からの来訪者の特徴は、40～50歳代、家族での来訪が多い。買い物を来訪目的としており、頻度の高いピーターが多い。(サンプル数:74/1,840)

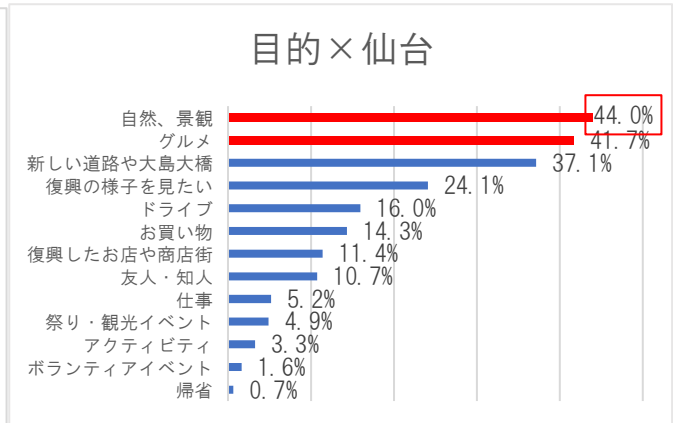
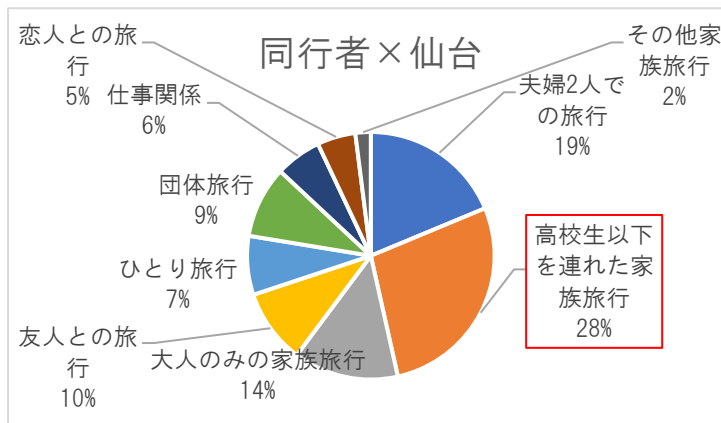
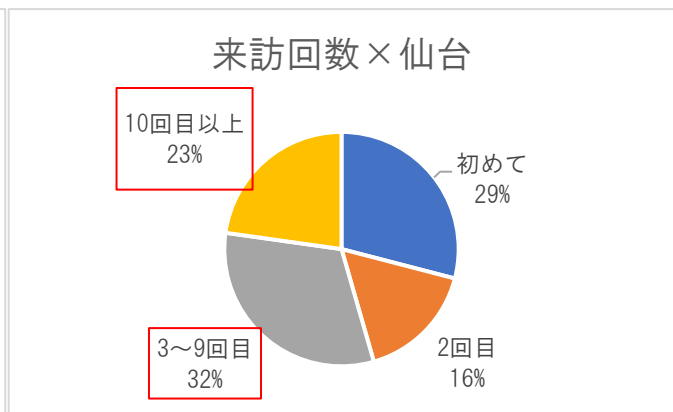
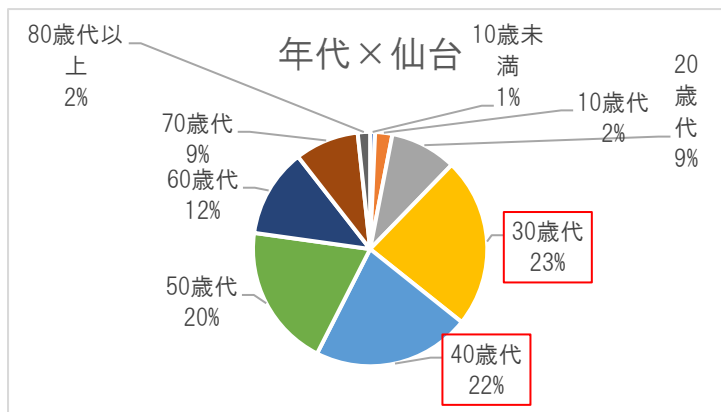
②仙台：仙台市からの来訪者の特徴は、30～40歳代、家族での来訪が多い。自然・景観やグルメが主な来訪目的となっており、55%が3回以上来訪経験のあるリピーターとなっている。(サンプル数:307/1,840)

③首都近郊：首都近郊からの来訪者の特徴は、60～70歳代、夫婦2人での旅行が多い。復興の様子を見に来ることが主な来訪目的となっており、約半数が初回来訪者となっている。(サンプル数:563/1,840)

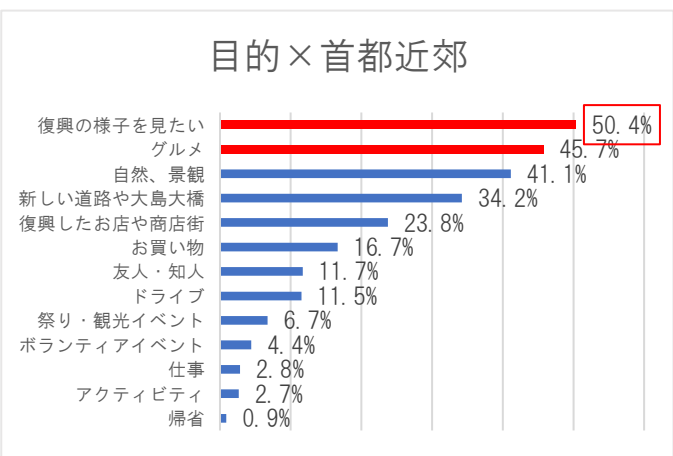
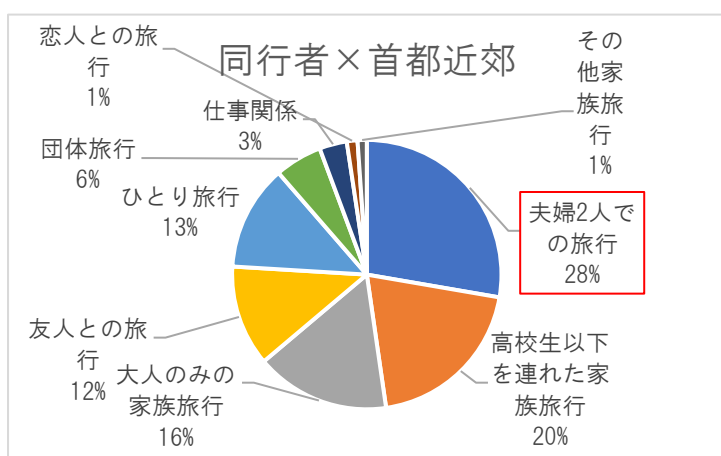
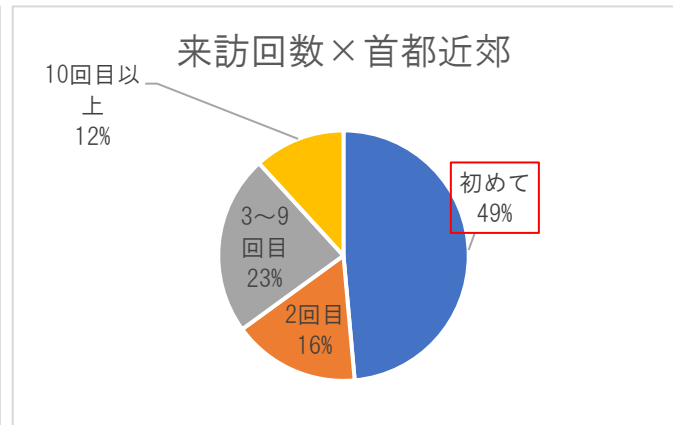
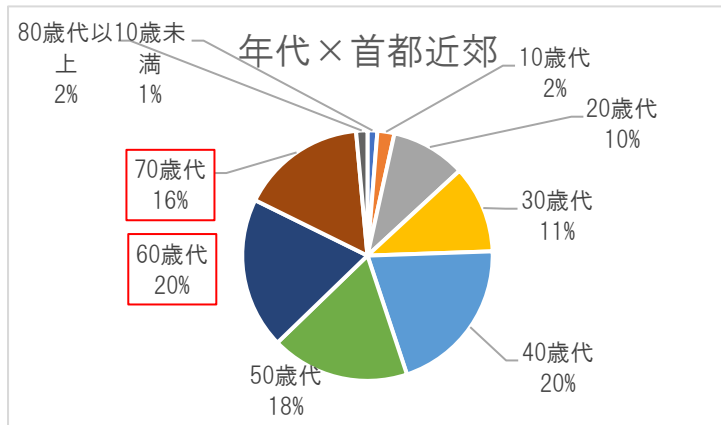
①一関



②仙台



③東京近郊

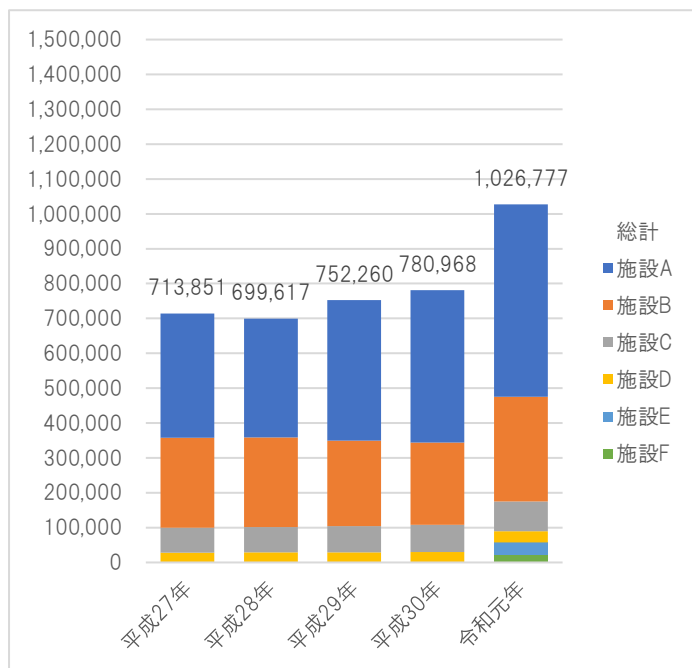


4. 物販施設(レジ通過人数)

＜物販施設トピックス＞

- ・令和元年から施設 E と施設 F が追加となった影響もあり、全体では昨対比 131.5%と大幅増となった。
- ・各月で過去 5 年間の最高人数を記録し、施設 E と施設 F を除いても 124.2%と昨年を大きく上回る結果となった。
- ・例年、3 月から 4 月にかけて横ばいとなる傾向が見られるが、令和元年は増加となった。これは 4 月に開通となった気仙沼大島大橋を見に来た観光客の影響が考えられる。

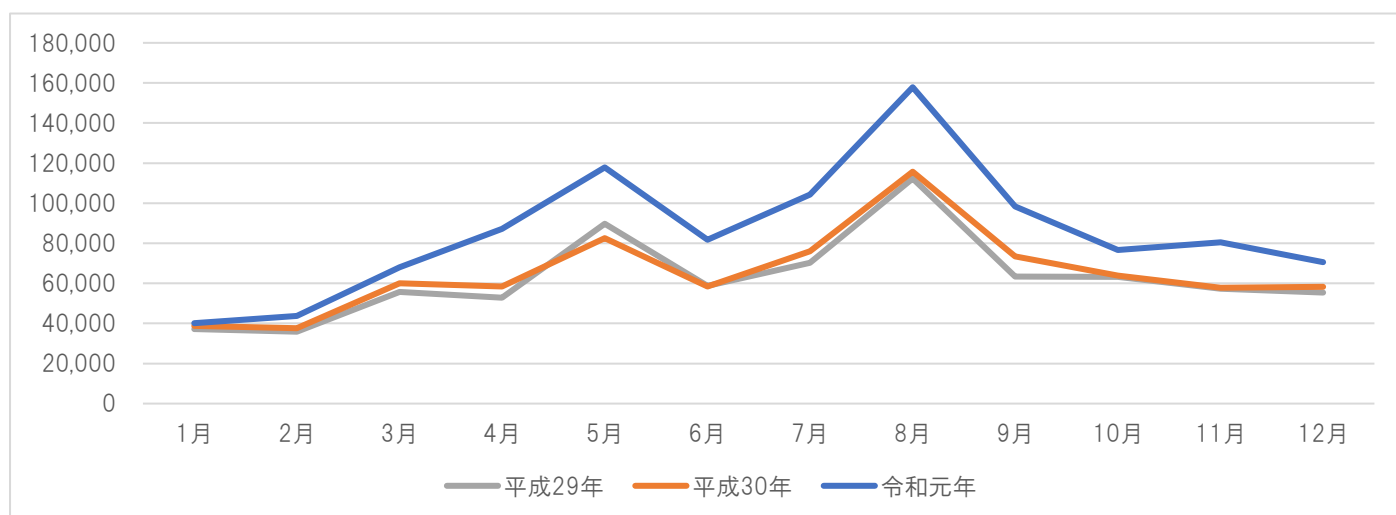
(1) 年別レジ通過人数(過去 5 年)



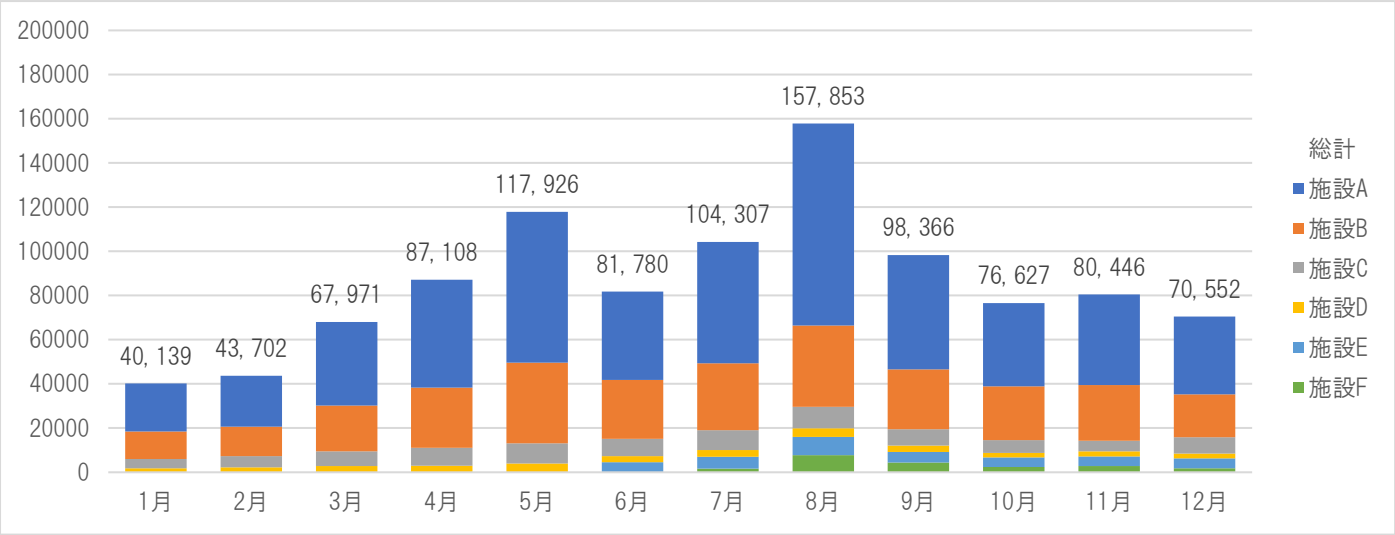
物販施設	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
施設A	355,804	340,744	402,324	437,136	551,553
施設B	258,097	256,994	245,272	235,754	300,076
施設C	72,200	72,690	75,837	78,167	85,110
施設D	27,750	29,189	28,827	29,911	32,869
施設E	0	0	0	0	36,276
施設F	0	0	0	0	20,893
総計	713,851	699,617	752,260	780,968	1,026,777

令和元年 6 月より調査対象に施設 E を、令和元年 7 月より施設 F を追加している。

(2) レジ通過人数 月別推移比較(過去 3 年)



(3)①施設ごとのレジ通過人数 令和元年



②参考:レジ通過人数 年間推移

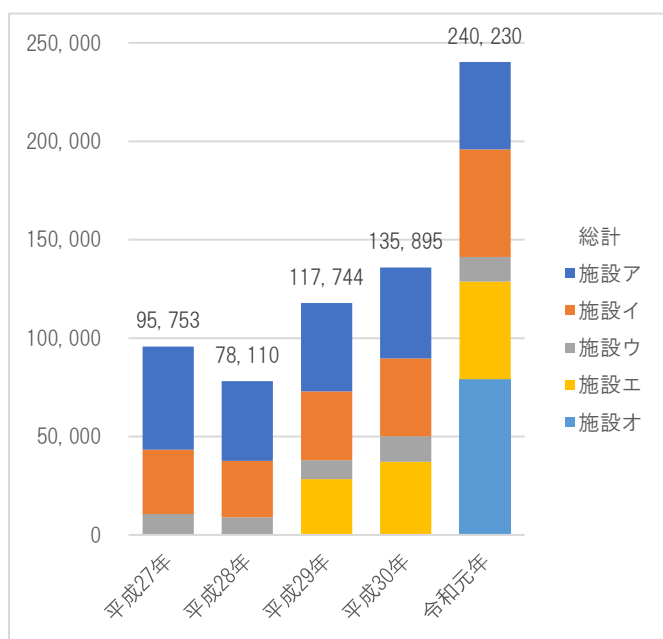
	令和元年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
施設 A	21,635	23,097	37,686	48,781	68,276	40,005	54,987	91,477	51,732	37,701	40,957	35,219	551,553
施設 B	12,551	13,242	20,756	27,310	36,532	26,568	30,280	36,751	27,090	24,419	25,171	19,406	300,076
施設 C	4,140	5,130	6,691	8,010	9,098	7,923	9,032	9,680	7,491	5,723	4,785	7,407	85,110
施設 D	1,813	2,233	2,838	3,007	4,020	2,728	2,920	3,876	2,874	2,057	2,339	2,164	32,869
施設 E						4,556	5,385	8,309	4,769	4,341	4,390	4,526	36,276
施設 F							1,703	7,760	4,410	2,386	2,804	1,830	20,893
総計	40,139	43,702	67,971	87,108	117,926	81,780	104,307	157,853	98,366	76,627	80,446	70,552	1,026,777

5. 観光施設

＜観光施設トピックス＞

- ・令和元年の観光施設利用者数は、施設オが新たに追加された影響もあり、全体で昨対比 176.8%と大幅に増加した。
- ・施設オを除いた観光施設の利用者数でも各施設において過去 5 年間で最高値となり、全体では昨対比 118.6%となった。

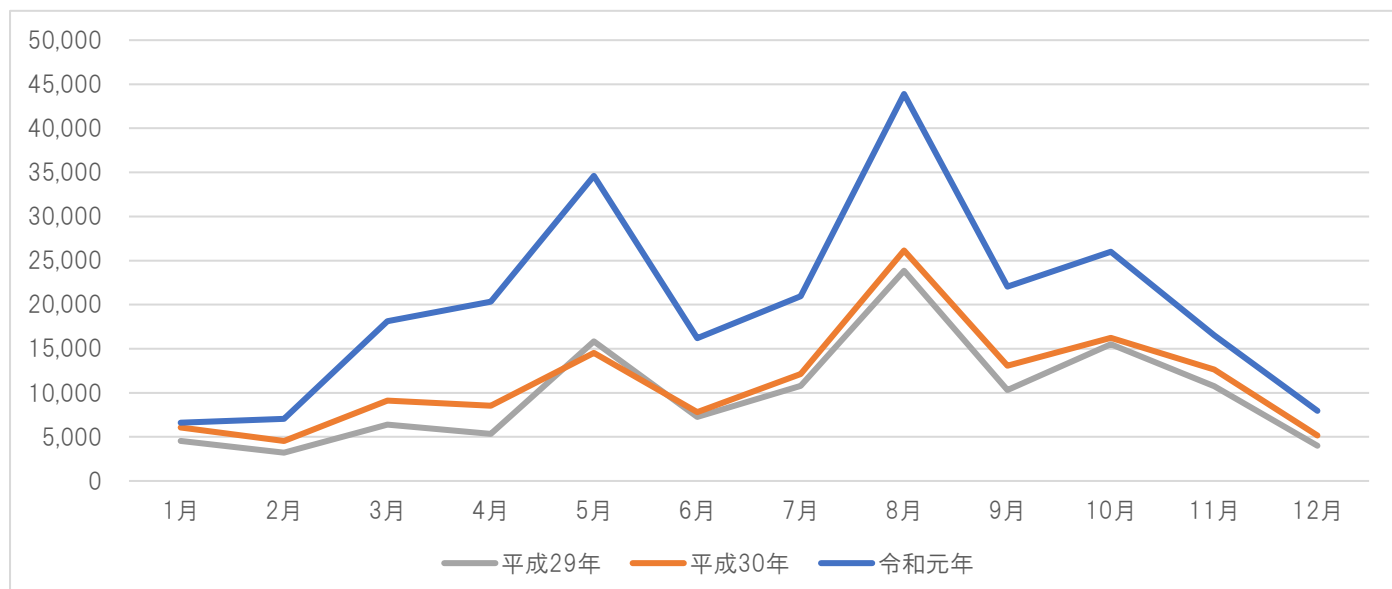
(1) 年別利用人数(過去 5 年)



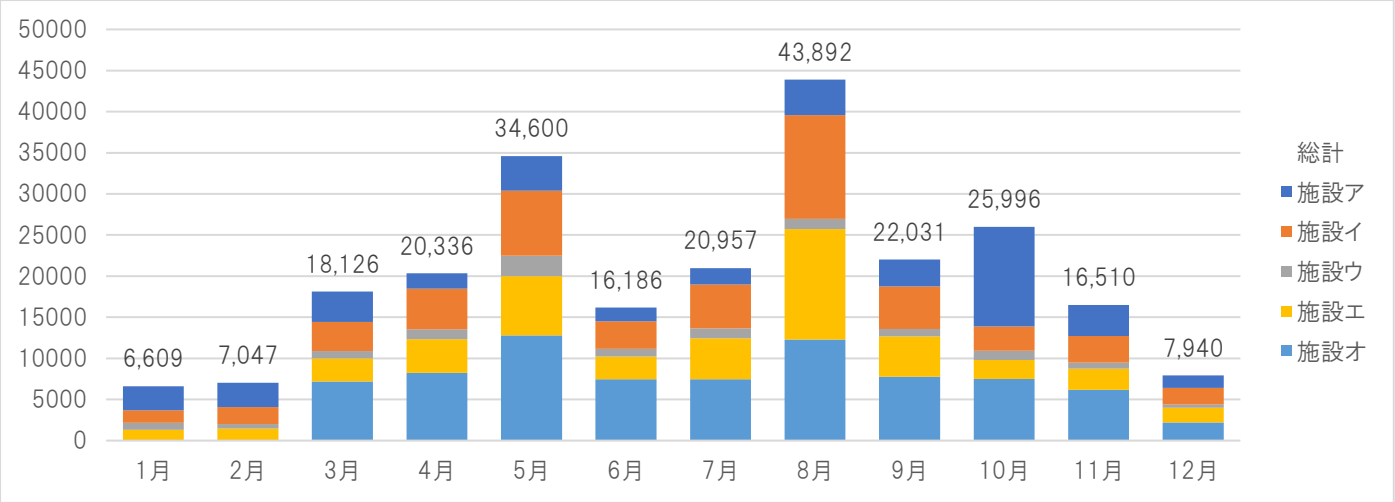
観光施設	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
施設ア	52,468	40,528	44,899	46,233	44,321
施設イ	32,659	28,519	34,862	39,568	54,677
施設ウ	10,626	9,063	9,639	13,012	12,494
施設エ	0	0	28,344	37,082	49,649
施設オ	0	0	0	0	79,089
総計	95,753	78,110	117,744	135,895	240,230

平成 29 年 4 月より調査対象に施設エを、令和元年 3 月より施設オを追加している。

(2) 利用人数 年間推移比較(過去 3 年)



(3)①利用人数 令和元年 年間推移



②参考:利用人数 年間推移

	令和元年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
施設ア	2,924	2,979	3,680	1,843	4,231	1,660	1,967	4,325	3,272	12,105	3,788	1,547	44,321
施設イ	1,516	2,037	3,545	4,957	7,898	3,367	5,356	12,609	5,181	2,973	3,220	2,018	54,677
施設ウ	844	557	908	1,202	2,494	926	1,199	1,244	914	1,104	737	365	12,494
施設エ	1,325	1,474	2,809	4,094	7,169	2,759	4,992	13,423	4,876	2,317	2,604	1,807	49,649
施設オ			7,184	8,240	12,808	7,474	7,443	12,291	7,788	7,497	6,161	2,203	79,089
総計	6,609	7,047	18,126	20,336	34,600	16,186	20,957	43,892	22,031	25,996	16,510	7,940	240,230

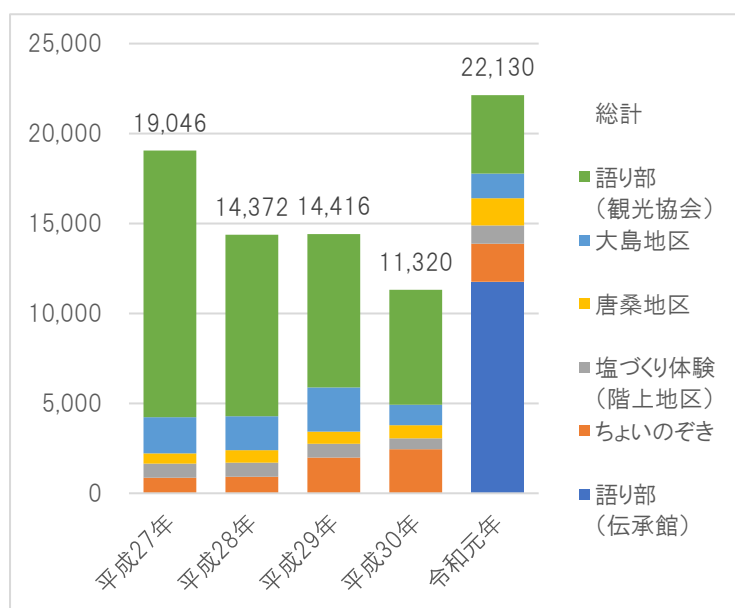
※団体割合を産業センター(海の市)斎藤さんにデータもらう。
※データがまとまったら、氷の水族館の状況を岡本さんにヒアリング

6. 体験・ガイドプログラム

＜体験・ガイドプログラムトピックス＞

- ・令和元年は語り部(伝承館)の影響が大きく、体験人数では前年対比 195.5%，体験金額では前年対比 145.3%とともに過去 5 年間で最高値となった。
- ・体験人数では 10 月が最も多く、語り部(観光協会)と語り部(伝承館)での教育旅行の受け入れが多かったことが要因と考えられる。
- ・体験金額では 7 月が最も高く、唐桑地区のオルレ・みちのくトレイルのガイドや、カキ養殖体験が好調で「体験人数」が 238.8%、「体験金額」が 212.6%と前年の 2 倍以上となったことが要因となっている。

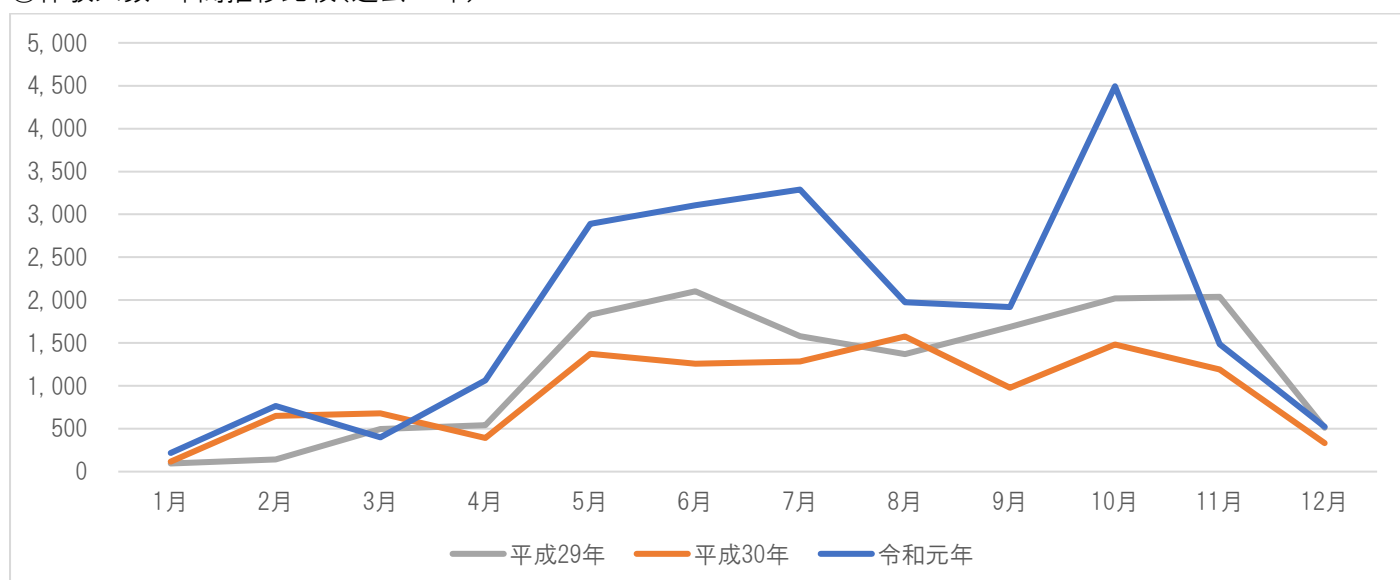
(1)①年別体験人数(過去 5 年)



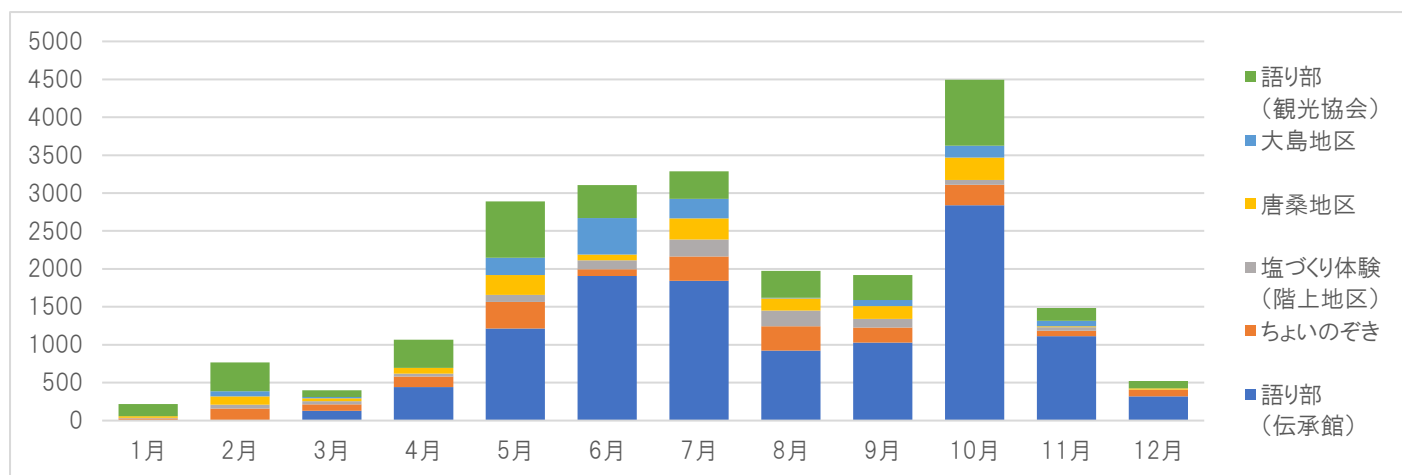
体験人数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
語り部(観光協会)	14,818	10,084	8,538	6,399	4,363
大島地区	2,009	1,893	2,448	1,141	1,366
唐桑地区	571	694	678	728	1,512
塩づくり体験(階上地区)	790	777	764	602	1,011
ちよいのぞき	858	924	1,988	2,450	2,118
語り部(伝承館)	0	0	0	0	11,760
総計	19,046	14,372	14,416	11,320	22,130

令和元年 3 月より語り部(伝承館)を追加している。

②体験人数 年間推移比較(過去 3 年)



③体験人数 令和元年 年間推移

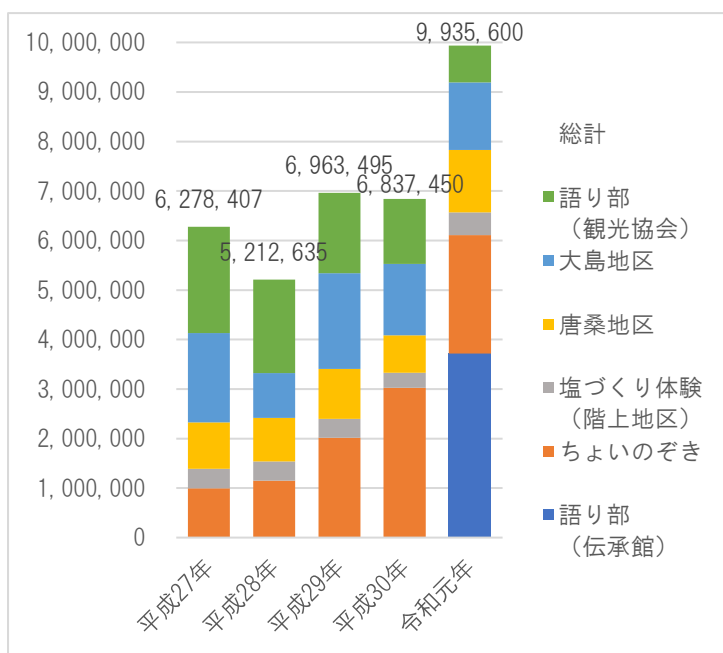


④参考:体験人数 年間推移

令和元年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
語り部 (観光協会)	161	378	90	372	740	435	363	357	327	871	172	97	4,363
大島地区	0	68	15	0	230	479	261	7	81	155	70	0	1,366
唐桑地区	19	110	38	74	261	77	277	161	169	294	14	18	1,512
塩づくり体験 (階上地区)	9	50	43	38	94	119	224	205	115	65	46	3	1,011
ちよいのぞき	29	160	85	140	350	90	320	321	196	270	71	86	2,118
語り部 (伝承館)			128	442	1,214	1,905	1,844	925	1,030	2,839	1,113	320	11,760
合計	218	766	399	1,066	2,889	3,105	3,289	1,976	1,918	4,494	1,486	524	22,130

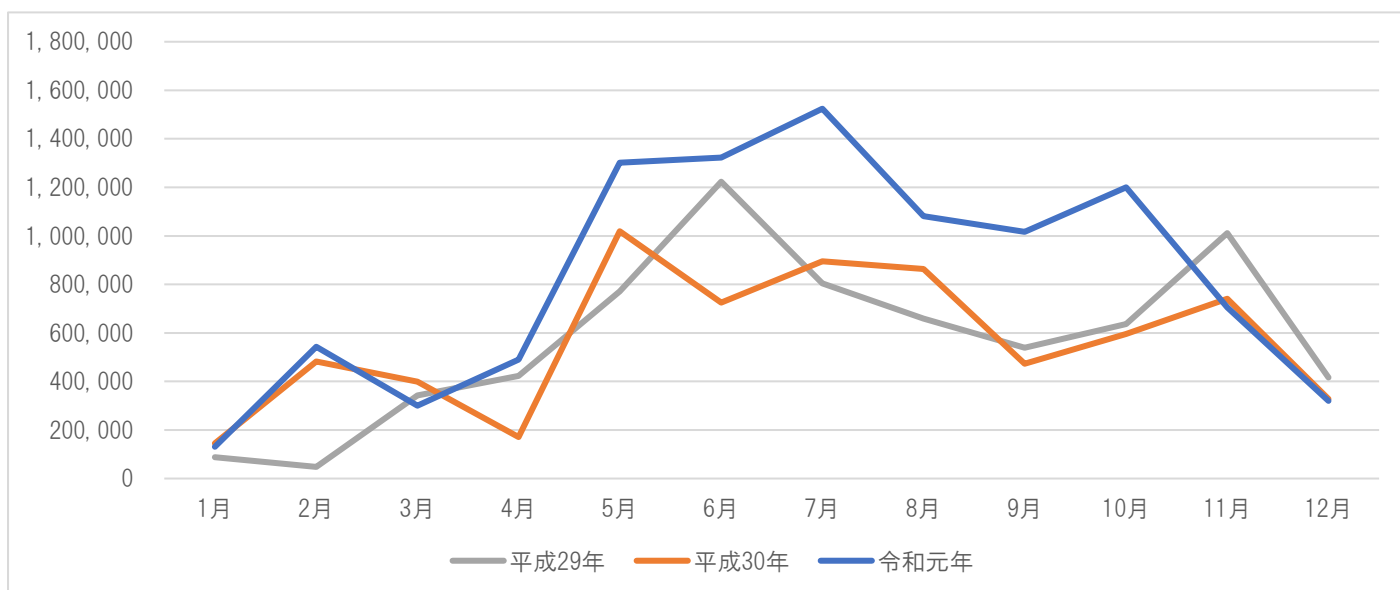
(2)体験金額

①年間体験金額(過去 5 年)

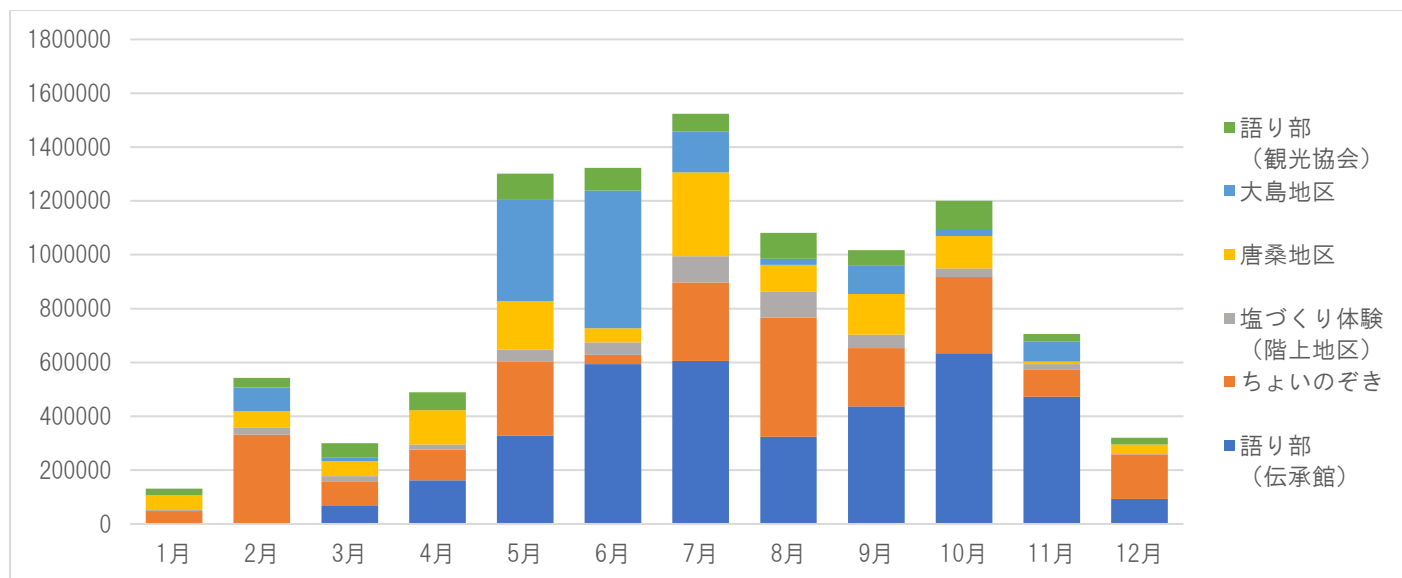


体験金額	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
語り部 (観光協会)	2,148,000	1,892,000	1,626,000	1,311,000	740,500
大島地区	1,803,818	905,935	1,933,595	1,438,400	1,367,000
唐桑地区	937,259	873,400	1,004,200	758,800	1,260,700
塩づくり体験 (階上地区)	395,000	388,500	382,000	301,000	458,900
ちょいのぞき	994,330	1,152,800	2,017,700	3,028,250	2,390,500
語り部 (伝承館)			0		3,718,000
総計	6,278,407	5,212,635	6,963,495	6,837,450	9,935,600

②年間推移比較(過去 3 年)



③令和元年 年間推移



④参考:体験金額 年間推移

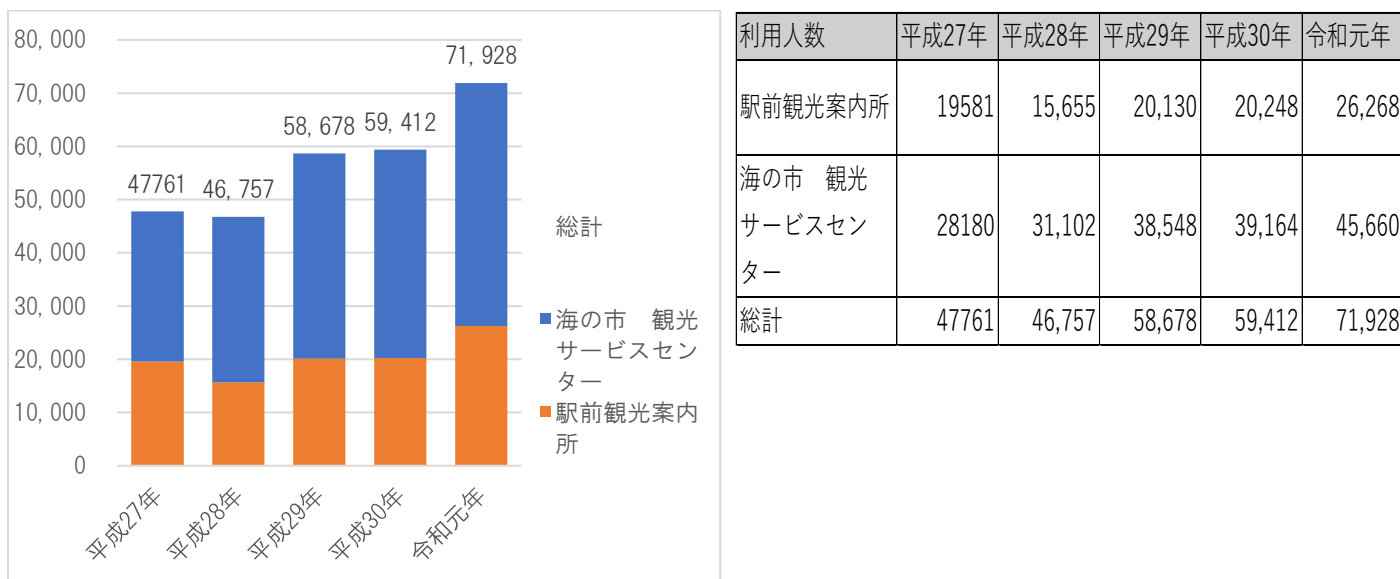
令和元年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
語り部 (観光協会)	24,000	36,000	52,000	66,500	98,500	84,000	67,000	96,500	58,000	104,000	29,000	25,000	740,500
大島地区	0	88,000	15,000	0	375,500	511,500	150,500	23,000	104,000	26,000	73,500	0	1,367,000
唐桑地区	55,000	62,000	55,000	127,500	180,500	52,800	311,500	99,000	152,000	120,400	10,000	35,000	1,260,700
塩づくり体験 (階上地区)	4,500	25,000	21,500	19,000	45,000	46,000	98,000	96,600	49,000	32,000	20,800	1,500	458,900
ちょいのぞき	47,500	331,900	87,500	114,600	275,300	34,200	291,050	442,350	216,700	283,400	100,500	165,500	2,390,500
語り部 (伝承館)			69,000	162,000	327,000	594,000	606,000	324,000	437,000	634,000	472,000	93,000	3,718,000
合計	131,000	542,900	300,000	489,600	1,301,800	1,322,500	1,524,050	1,081,450	1,016,700	1,199,800	705,800	320,000	9,935,600

7. 観光案内所

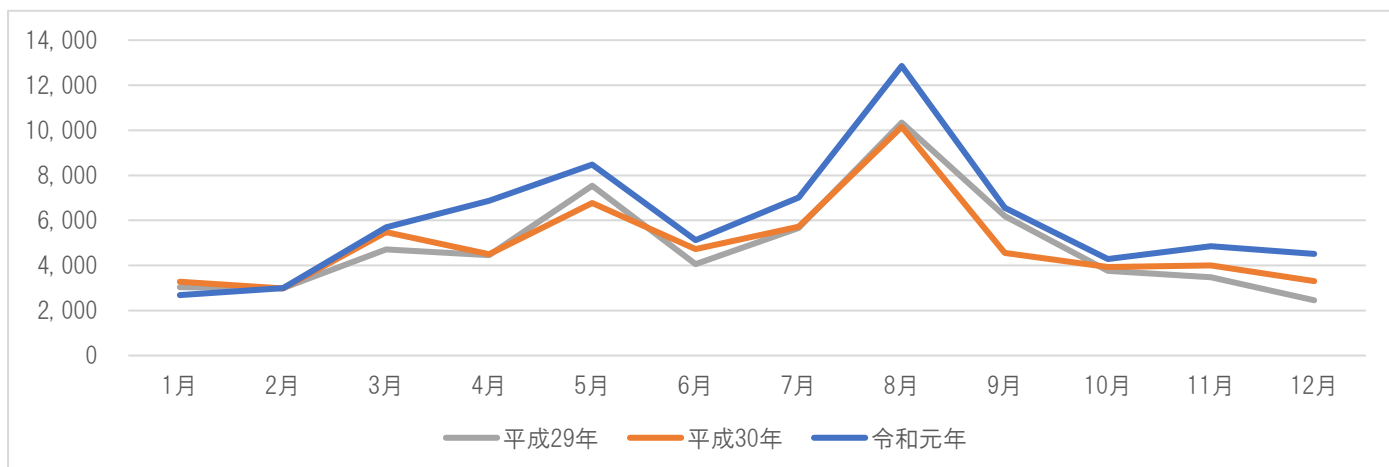
＜観光案内所ピックス＞

- ・観光案内所の利用者数は、過去 5 年間で毎年増加傾向にあり、前年対比で 121.1%となった。
- ・令和元年の利用状況としては、観光案内の割合が 98.2%であり、宿泊案内よりも観光案内の割合が多い。
- ・駅前案内所は 10 月以降大きく落ち込むが海の市利用は 12 月までは大きく減少しない。
- ・スタッフからは「食事や道について尋ねられることが多いが、近年ではキャラクターとのコラボ企画について尋ねられることも増えてきた」、「窓口での宿泊案内は年々減少傾向にあり、アクティビティについての問い合わせが増えてきた。」などの声が聞かれた。

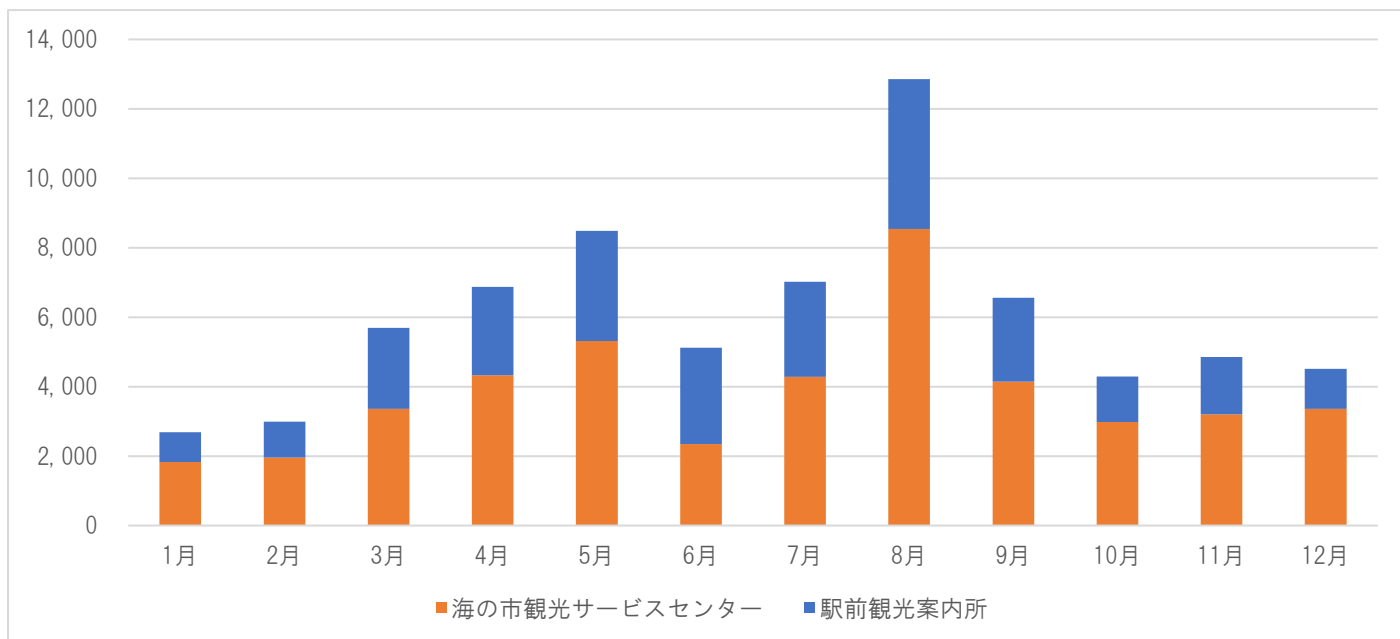
(1) 観光案内所 利用人数(過去 5 年)



(2) 観光案内所 年間推移比較(過去 3 年)



(3)①観光案内所 令和元年 年間推移



②参考:観光案内所 年間推移

令和元年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	総計
駅前観光案内所	855	1,030	2,325	2,544	3,167	2,781	2,736	4,315	2,410	1,309	1,643	1,153	26,268
海の市 観光サービスセンター	1,830	1,958	3,364	4,327	5,317	2,343	4,283	8,541	4,147	2,979	3,207	3,364	45,660
合計	2,685	2,988	5,689	6,871	8,484	5,124	7,019	12,856	6,557	4,288	4,850	4,517	71,928